

# ENSEMBLE PARTENOPE

《アンサンブル・パルテノペ》バロック声楽 LIVE シリーズ Vol.2

## Mika meets Baroque

ミカ・ミーツ・バロック

金子美香：メゾ・ソプラノ

アンサンブル・パルテノペ

西山 まりえ：チェンバロ / バロック・ハープ

懸田 貴嗣：バロック・チェロ

G. カッチーニ：麗しのアマリッリ (1603)

G.F. サンチェス：スターバト・マーテル (1636)

N. ボルボラ：「美しい女神よ」オペラ「アンジェリカ」より (1720)

N. ボルボラ：ソプラノのためのカンタータ第3番 "Tirsi chiamare a nome"  
「12の室内カンタータ集」より (1735)

G.F. ヘンデル：「いとしい希望よ、この心に」オペラ「ジュリオ・チェーザレ」より (1724)

G.F. ヘンデル：「信じておくれ、私の悲嘆を」オペラ「アルチーナ」より (1735)

ほか

‘22年 6月 24日(金)

昼の部 14時開演 (13時30分開場)

夜の部 19時開演 (18時30分開場)

※各回 60分プログラム 休憩なし 昼夜同一公演

全席自由 5,000円 各回 全席 80席限定

MUSICASA 《ムジカーザ》

151-0066 東京都渋谷区西原3-33-1

(小田急線・東京メトロ千代田線代々木上原駅東口徒歩2分)

【主催】アンサンブル・パルテノペ

【チケット予約・お問合せ】ムジカキアラ 03-6431-8186 / info@musicachiara.com // イープラス <https://eplus.jp/>

西山まりえと懸田貴嗣の強力な通奏低音ユニットによるアンサンブル・パルテノペのバロック声楽LIVEシリーズ第2弾。昨年の鮮烈な初回(ストロツィ)も記憶に新しいが、今回はパイロイト音楽祭、新国立劇場など活躍目覚ましい我が国を誇るメゾ・ソプラノ金子美香をゲストに迎えてのMika meets Baroque(ミカ・ミーツ・バロック)! 毎朝モンテヴェルディを聴くという熱烈なバロックファン金子美香が、カッチーニのアマリッリ、ヘンデル、ボルボラのアリア、カンタータの名曲を歌い上げる! 60分休憩なしの贅沢な時間をご堪能ください。





# ENSEMBLE PARTENOPE 《アンサンブル・パルテノペ》

2019年ヴィヴァーニ作品のレコーディングをきっかけに創設された新たなるアンサンブル。ラ・ヴェネシアーナ(イタリア)やBCJなどで国際的に活躍するチェロの懸田貴嗣、古楽界をリードするハープ&鍵盤奏者の西山まりえによる強力な通奏低音ユニットに加え、パーゼルを拠点にヨーロッパ主要アンサンブルでの活躍が目覚ましいヴァイオリンの朝吹園子(今回は未出演)を中心メンバーとし、これまで専門分野としてきたイタリア・バロック音楽をメイン・レパートリーに据えて公演を行うことを目的としている。今後も定期的にゲストの歌手や器楽奏者を迎え、声楽作品や協奏曲など、積極的に取り上げていく予定である。



## 【プログラム】

G. カッチーニ (1551-1618) : 麗しのアマリッリ  
Giulio Caccini : Amarilli mia bella (1603)

G.F. サンチェス (ca.1600-1679) : スターバト・マーテル  
Giovanni Felice Sances : Stabat Mater (1636)

G.F. ヘンデル (1685-1759) : 「いとしい希望よ、この心に」 オペラ「ジュリオ・チェーザレ」より  
George Frideric Handel : "Cara speme, questo core" Giulio Cesare in Egitto, opera, HWV 17 (1724)

G.F. ヘンデル : 「信じておくれ、私の悲嘆を」 オペラ「アルチーナ」より  
George Frideric Handel : "Credete al mio dolore" Alcina, opera HWV 34 (1735)

N. ポルポラ (1686-1768) : 「美しい女神よ」 オペラ「アンジェリカ」より  
Nicola Porpora : "Bella diva all'ombra amica" Angelica, opera (1720)

N. ポルポラ : 「ティルシを名前と呼ぶことを」 カンタータ第3番「12の室内カンタータ集」より  
Nicola Porpora : Cantata III "Tirsi chiamare a nome" Recitativo - Affettuoso - Recitativo - Allegro "Dodici Cantate op. 1"(1735)

G.F. ヘンデル : ハープシコード又はスピネット独奏の序曲集より「アルチーナの序曲」  
George Frideric Handel : Overture in Alcina Overtures fitted to the Harpsichord or Spinnet

G.F. ヘンデル : クラヴサン組曲 第1集 第7番より「パッサカイユ」ト短調  
George Frideric Handel : Passacaille Siebente Suite in g-moll HWV432 Suite de pièces pour le clavecin, premier volume

N.F. ハイム (1678-1729) : チェロと通奏低音のためのソナタ ホ/イ短調  
Nicola Francesco Haym : Sonata per violoncello e basso in mi/la minore

※順不同、都合により曲目を変更する場合がございます。

## 【出演者プロフィール】

西山まりえ チェンバロ/バロック・ハープ



チェンバロとヒストリカル・ハープ2種の古楽器を操る希有なプレーヤーとして数多くのコンサート、音楽祭や録音に参加。幅広いジャンルに亘るアーティストとの共演は常に多くの反響を呼んでいる。国内外レベルでの録音はその多くが「レコード芸術」誌特選盤や朝日新聞推薦盤に選ばれるなど高く評価されている。「J.S.バッハ:トッカータ集」は、令和元年度文化庁芸術祭参加作品、朝

日新聞推薦盤、「レコード芸術誌」特選盤に選ばれた他、様々な雑誌で採り上げられ話題となっている。東京音楽大学ピアノ科卒業、同大学研究科修了後、ミラノ市立音楽院、パーゼル・スコラ・カントールムに留学。第11回山梨古楽コンクール・チェンバロ部門第1位および栃木[蔵の街]音楽祭賞受賞。古楽ワークショップ「信州アーリーミュージック村」芸術監督。武蔵野音楽大学非常勤講師。

懸田貴嗣 バロック・チェロ



東京芸術大学院修了後ミラノ市立音楽院で学ぶ。チェロを鈴木秀美、ガエタノ・ナジッロの各氏に師事。伊ボンポルティ国際古楽コンクールで第1位、聴衆賞を受賞。バッハ・コレギウム・ジャパン、リクレアツィオン・ダルクアディア、ラ・ヴェネシアーナのメンバーとして、国内・欧州諸国などの世界各地の音楽祭に招かれている。通奏低音奏者としては

エマ・カークビー、ミカラ・ペトリ、エンリコ・オノフリなど多くの著名なソリストと共演している。CD「ランゼッティ/チェロ・ソナタ集」で文化庁芸術祭優秀賞を受賞。コンセル・エクラタンとのチェロ協奏曲、主宰するアンサンブル・パルテノペによる韓国公演を成功させるなど活動の幅は広がっている。

金子美香 メゾ・ソプラノ (GUEST)



東京音楽大学を首席で卒業後、同大学院を経てザルツブルグモーツアルテウム音楽院マスタークラス、二期会オペラ研修所マスタークラスを修了し、修了時に優秀賞を受賞。オペラでは2008年二期会「ワルキューレ」グリムゲルデでデビュー。以降新国立劇場、日生劇場、びわ湖ホール、東京・春・音楽祭ワグナーシリーズなどに出演し、いずれも存在感ある美声と高い音楽性、充実した歌唱で高い評価を得ている。2018年夏にはパイロ

イト音楽祭「ワルキューレ」(ブラシド・ドミンゴ指揮)にグリムゲルデ役で出演という快挙を成し遂げた。またコンサートにおいてもヘンデル「メサイア」、モーツアルト「レクイエム」、ベートーヴェン「第九」「ミサ・ソレムニス」、メンデルスゾーン「エリア」、ヴェルディ「レクイエム」、NHKニューイヤーオペラコンサート等にも出演。2018年には初のソロアルバム「南天の花」をリリース。レコード芸術特選盤、音楽現代推薦盤に選ばれた。二期会会員。

金子美香 公式 Facebook ページ  
<https://www.facebook.com/MikaKanekoOfficial/>

【主催】 アンサンブル・パルテノペ

【チケット予約・お問合せ】 ムジカキアラ 03-6431-8186 info@musicachiarara.com // イープラス <https://eplus.jp/>